

# バババルーン広島皆実自己評価結果

討議年月日: 令和 8 年 1 月 14 日

公表: 令和 8 年 2 月 1 日

事業所名 バババルーン広島皆実

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	0	活動に応じてレイアウトを工夫し、広い空間を使うことができるようにしている。	今後も同様にしていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	0	5	0	新しいスタッフも増えてきている。	今後も支援状況等に応じて、人員配置を適切に行っていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	0	3	床面はフラットになっている。階段はバリアフリー化されていない。	階段は手すりや滑り止めに対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	0	毎朝の朝礼で行っている。	個々のスタッフのスキルを上げて、PDCAをよりスムーズに行うことができるようにしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	アンケート調査を実施することによって保護者の意向を把握し、業務内容を改善していく。	保護者の方の意見もそれぞれ違うため、個別に対応し、改善していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	0	2025年度開所のため、昨年度までは行っていない。	アンケート後、結果を踏まえて、何が改善できるのか検討していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	1	今は行っていない。	評価を行い、結果を見て改善できる部分についてスタッフ間で話し合い、改善に繋げていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	資質向上や、資格取得のための研修に参加している。	今後も様々な研修に積極的に参加していく。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	保護者の方と面談を行って、計画を作成している。	送迎時や面談でできるだけ家庭や学校での話を聞き、計画を作成するよう心掛けている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	色々なデータを参考にさせてもらっている。	アセスメントツールを頭に入れ、その時の子どもの様子に応じて必要なことを提供している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	ミーティング時に活動案を出し合い、プログラムを作成している。	ミーティングの際にプログラムについて話し合い、子どもたちにとってより良い活動ができるようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	0	利用する児童の特徴や人間関係にも気を付けるようにしている。	スタッフ間で意見を出し合い、子どもたちが興味を持って参加できる療育プログラムを考えていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	0	子どもたちにとって今何が必要なのかを見極め、設定するようにしている。	子どもたちに必要な療育を行うことができるよう、今後も努めていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	2	0	子どもたちの様子に応じて、活動内容を考えたり、活動を組み合わせたりしている。	今後もその都度子どもたちの様子をミーティング等で話し合い、活動に意欲的に参加することができるようにしていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	毎朝朝礼を行い、一日の流れの確認や担当についてなど話し合うようにしている。	朝礼で一日の流れの確認をし、記録にも残して確認できるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	0	個々で振り返りを行っている、全体では翌日の朝礼でおこなっている。	個々での振り返り後、スタッフ間で情報共有して今後の支援に生かしていくことができるようにしていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	毎日記録し、支援方法の改善につなげている。	支援後毎日記録をし、支援内容や配慮すべき点などスタッフ間で話し合うことができるようにしている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。	半年に一度は保護者の方と面談して思いや様子について共有し、計画の立て直しをしている。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	5	0	0	行っている。	個別支援計画に合わせて、組み合わせを変えていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2	0	相談支援が付いている児童がほとんどいないため機会は少ないが、会議があるときには参加している。	担当者会議が行われる際には、その利用者の様子に詳しいスタッフが対応していく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	2	0	適切に行っている。	今後も迎え時に学校の先生と児童の様子について共有したり予定の確認を行ったりしていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	0	現在、該当児童がいない。	該当児が入所した場合には、適切な対応をしていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	1	情報共有したことがある。	今後も必要に応じて情報共有に努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	1	現在、該当児童がいない。	今後、必要に応じて対応していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	1	定期的に研修を受ける時間を設けている。	研修後、内容をまとめてスタッフ間で共有し、支援に取り入れられることを話し合っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	1	放課後児童クラブとの交流の場を設けている。	事業所の1階に放課後児童クラブがあるため、夏祭りをして交流した。今後も交流の場を作っていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	1	必要に応じて参加している。	今後も可能な限り参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	送迎時や面談の際に、児童の状況を共有し、課題について共通理解を持つことができるようにしている。	スタッフ間ではミーティングで情報を共有し、家庭と学校と事業所とが同じ方向を向いて支援することができるようにしている。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	2	行っていない。	今後行うことができるよう、スタッフも研修等受けていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	行っている。	契約時に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	送迎時やLINE、電話で相談に応じている。	保護者の方の思いを聞き、解決に向けていくことができるように対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	2	行っていない。	機会があれば行っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	苦情を受けた際は、迅速に対応するようにしている。	スタッフ間で共有し、保護者の方に納得していただける対応をするようにしている。また、その後は改善に繋げることができるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	発信している。	月に一度おたよりを出したり、ブログを更新したりして、子どもたちの活動の様子を公開している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	写真利用については同意書をいただいたり、書類の保管は施錠して行ったりしている。	個人情報は施錠付き保管庫で管理し、データは各PCにパスワードを設定して管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	配慮している。	一人ひとりに合わせた伝え方や対応ができるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	3	行っていない。	今後イベントを行い、地域の方に事業所を知っていただいたり、交流したりできるようにしていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	緊急避難先など、周知している。	各種避難訓練を今後も今まで通り行い、緊急時に対応することができるようにしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	月に一度、行っている。	毎月避難訓練を行い、避難の仕方や避難場所の確認をスタッフ・児童と共に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	研修を受けている。	定期的に研修を受け、虐待への意識付けをするようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1	1	記載している。	契約書に記載しており、契約時に説明している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	0	診断書のある児童に対して、配慮している。	契約時にアレルギー等確認し、対応できるようにしている。また、職員に対してアレルギー対応についての研修を行っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	ヒヤリハット事例を記録し、事業所内で把握、確認できるようにしている。	作成し、ミーティング等で話し合っ て情報共有し、予防することが出来るよう努めている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。